

令和7年度雪崩災害防止セミナーの開催概要

開催主旨

我が国は世界でも有数の雪の多い国です。国土面積の半分以上が豪雪地帯として指定されており、そこで約1,800万人が生活を営んでいます。豪雪地帯は、北海道、東北、日本海沿岸及び山間部にわたって指定されており、これらの地域では大量の降雪だけでなく、雪が生活に様々な影響を及ぼしています。特に、山間部の住民にとって雪崩は大きな脅威であり、生活への影響のみならず、犠牲者を伴う被害も少なくありません。

令和6年度の冬期間は、1月に寒気の影響が弱く気温がかなり高かった一方、12月と2月を中心に強い冬型の気圧配置が持続する時期があったため、北・東・西日本の日本海側を中心に大雪となったところがありました。特に、2月4日から9日にかけて強い寒気が流れ込んで強い冬型の気圧配置が続いた影響で、北日本から西日本にかけての地域では、日本海側を中心に広い範囲で大雪や暴風雪・暴風となりました。総降雪量は東北地方南部から北陸地方を中心に多い所で150cmを超え、釧路地方、十勝地方、福島県、新潟県では積雪の深さが観測史上1位の値を更新した地点があるなど、本州の日本海側や北海道地方では記録的な大雪となり、道路の通行止めや鉄道運行の見合わせなど交通網を中心に大きな影響をもたらし、福島県では集落雪崩による人家被害や雪崩による孤立集落が生じるなど、生活に多大な影響を与えることとなりました。

国土交通省と都道府県では、防災・減災の取組の一環として、国民一人ひとりが雪崩災害の防止及び被害の軽減の重要性について認識し、理解が深められるよう、毎年12月1日から7日を「雪崩防災週間」として定め、様々な取組を実施しています。その一環として、雪崩災害について理解を深めることを目的としたセミナーを下記のとおり開催します。

記

1. 日時・会場・開催方法

開催日：令和8年1月13日（火） 13:30～16:40

会場：会津若松市生涯学習総合センター（會津稽古堂）福島県会津若松市栄町3番50号
(<https://www.city.aizuwakamatsu.fukushima.jp/docs/2007080600753/>)

開催方法：対面

2. 開催機関

主催：全国地すべりがけ崩れ対策協議会

共催：福島県

協賛：雪崩防災週間推進協議会

3. 参加費・参加申し込み

参加費：無料

申込方法：下記申込フォームよりお申込みください。

対象：自主防災組織の役員など地域防災に携わる方、雪崩対策に関わる行政担当者、民間コンサルタント等の技術者及び興味のある方

申込期限：令和7年11月26日（水）～ 令和7年12月19日（金）

○申し込みフォーム

<https://Fukushima.ubinavi-plus.com/yb/page/ybSurvey.php?hidReportList=RPT0001049>



【ゆびナビぶらす 二次元コード】

4. プログラム

開 会 (13:30～13:35)

開催挨拶 福島県

来賓挨拶 (13:35～13:40)

来 賓 国土交通省水管理・国土保全局砂防部長 國友 優

雪崩災害防止功労者表彰式 (13:40～13:50)

表 彰

雪崩災害防止セミナー (13:50～16:30)

《基調講演》 (13:50～14:40)

新潟大学 災害・復興科学研究所
教授 河島 克久

《話題提供》

国立研究開発法人防災科学技術研究所 (14:40～15:05)
雪氷防災研究センター 上席研究員 山口 悟

国立研究開発法人土木研究所 土砂管理研究グループ (15:05～15:30)
雪崩・地すべり研究センター センター所長 藤平 大

《休 憩》 (15:30～15:40)

《パネルディスカッション》

「気候変動下の雪崩災害とその対応」 (15:40～16:30)

〔パネリスト〕

国立研究開発法人防災科学技術研究所
雪氷防災研究センター 契約研究員 上石 勲

町田建設株式会社 取締役 町田 敬

福島県南会津建設事務所長（前 福島県砂防課長） 伏見 聡

〔コメンテーター〕

国土交通省水管理・国土保全局砂防部長 國友 優

〔コーディネーター〕

国立研究開発法人土木研究所 土砂管理研究グループ
雪崩・地すべり研究センター センター所長 藤平 大

次年度開催県挨拶 (16:30～16:35)

次年度開催県 新潟県

閉 会 (16:35～16:40)

閉会挨拶 全国地すべりがけ崩れ対策協議会

5. その他

雪崩災害防止セミナーは、（一社）建設コンサルタント協会CPDプログラムに認定予定です。

6. 問い合わせ先

福島県 土木部 砂防課
担当：高橋、志賀 TEL：024-521-7493